

# 2号機原子炉建屋内調査 (地下1階アクセス性検討のための状況確認)

2022年11月24日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

# 1. 背景および調査目的

## 背景

- 当社は「福島第一原子力発電所1~3号機の炉心・格納容器の状態の推定と未解明問題に関する検討」として、事故進展の解明にかかる取組みを継続。
- 事故進展にかかる多くの情報は廃炉作業の進捗とともに取得していくが、原子炉建屋内の事故の痕跡を留める場所については、事故時の情報が失われる前に先行して調査を行い検討に役立てることを計画し、「福島第一原子力発電所事故調査中長期計画」として公表。
- 2号機においては、津波到達前後を含め約3日間作動していたRCIC※の停止原因の解明が検討課題の一つとなっているが、RCIC室は地下1階にあるため、アクセスが困難な状況。他の設備を含めた地下1階の調査を行うため、地下1階へのアクセス方法を検討中。

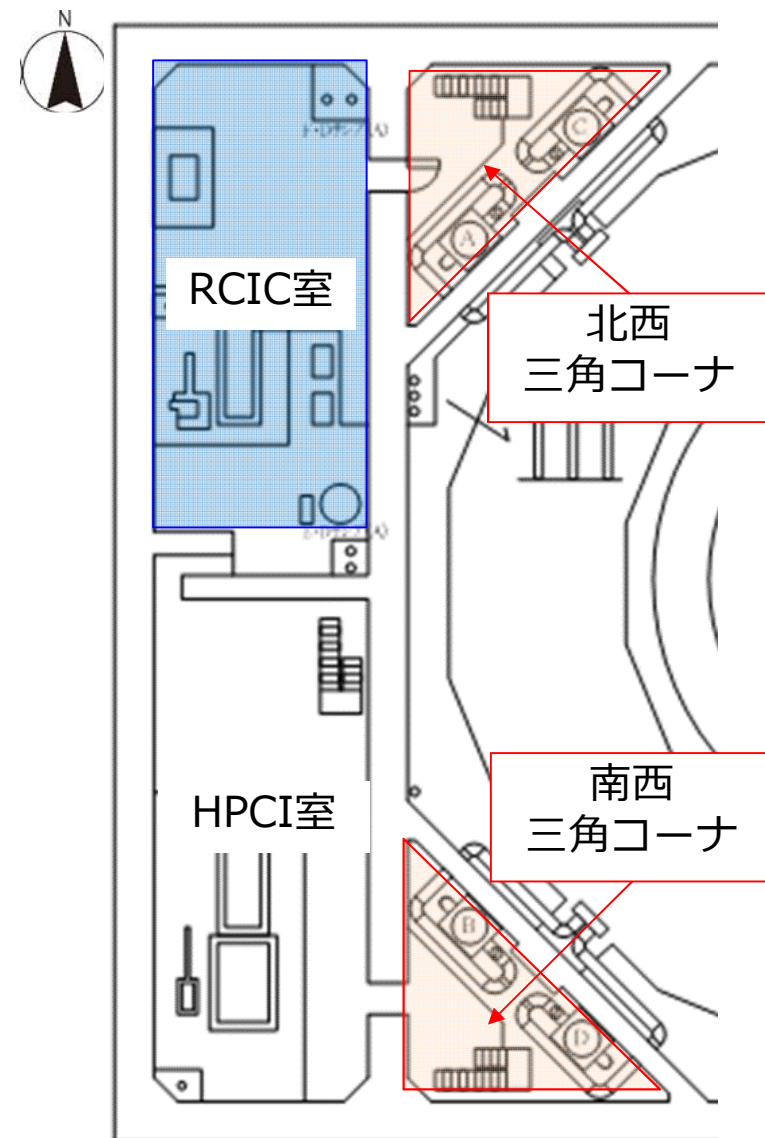
## 調査目的

- 今回は、将来的にRCICを含む地下1階設備を調査するための事前調査として、原子炉建屋地下1階へのアクセス方法検討に資する情報を取得することを目的とし、地下1階三角コーナの状況を確認する。

※RCIC：原子炉隔離時冷却系（Reactor Core Isolation Cooling system）。  
通常の系統による原子炉への給水が出来なくなった時、原子炉の蒸気を駆動源とするポンプによって給水する系統。

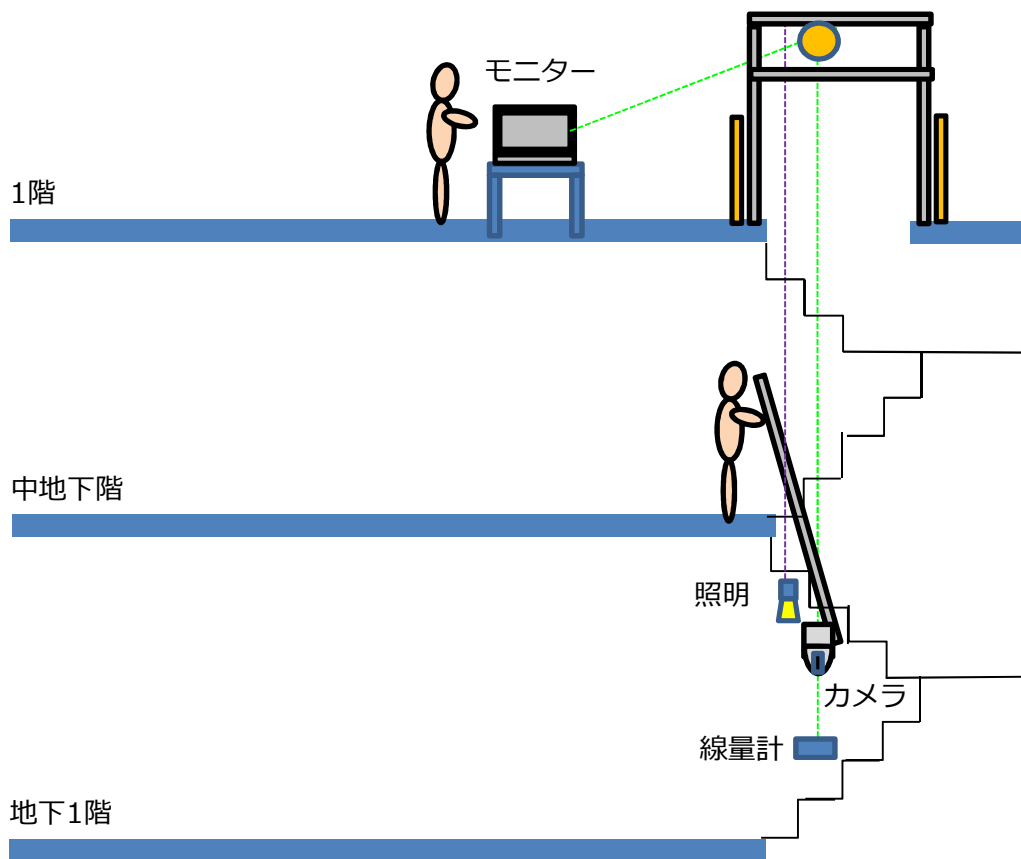
## 2. 事前調査の概要

- 調査対象エリア
  - 2号機原子炉建屋地下1階  
北西三角コーナ／南西三角コーナ
- 調査方法
  - 比較的線量が低いエリア（1階フロア等）から調査装置（カメラ、線量計）を吊り降ろし、三角コーナの状況確認（干渉物の有無等）および線量率調査を行う。
- 調査期間
  - 2022年12月～2023年2月（予定）



2号機原子炉建屋地下1階概略図

# (参考) 調査イメージ



1階 (階段室)



中地下階 (階段)



地下1階 (階段)